

# 委員会活動報告書

委員長名 坪川トモ子

<b>【委員会名】</b> 国家試験委員会	
<b>【メンバー】</b> ◎坪川トモ子（新潟青陵大学看護学部） ○大西真由美（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科） ¥大谷喜美江（日本赤十字豊田看護大学看護学部） 齋藤公彦（福山平成大学看護学部） 播本雅津子（名寄市立大学保健福祉学部） 50 音順、◎委員長、*役員以外の委員、¥会計担当、（ ）所属名	
<b>【活動方針】</b> 1. 第 105 回国家試験問題や受験環境に関する調査を行い、意見書を厚労省に提出する。 2. 教員研修会・ブロック活動を通して会員校に情報発信し、保健師国家試験への関心を高める。	
<b>2018 年度</b>	
<b>達成目標</b>	1. Web 調査による第 105 回保健師国家試験に係る環境調査について、受験生に周知を徹底し、回答率の向上を図り、受験環境改善に寄与する。 2. Web 調査による第 105 回保健師国家試験に係る問題内容調査を会員校の協力を得て、国家試験問題の適正化改善に寄与する。 3. 複数校グループで国家試験問題の全問調査に取り組み、信頼性の高い回答を得る。 4. ブロック等が主催する国家試験問題作問などに関する研修会に協力し、会員校教員の問題作成の力量アップを図る。
<b>活動報告</b>	1. 第 105 回保健師国家試験の出題内容について、会員校に対する調査を行い厚生労働省に結果を踏まえた要望書を提出した。(2月25日) *調査回答状況 回答会員校数 121校 (57.9%) 対前年度比 10校増 (+2.4%) 2. 第 105 回保健師国家試験の受験環境について、会員校受験生に対する WEB 調査を行い厚生労働省に結果を提出し、受験環境の改善を要望した。(2月25日) *調査回答者数 884人 (対前年比 213人増) 3. 上記内容調査の際は、複数校による検討を推奨した。 *複数校による検討数 3か所 31会員校 4. 南関東ブロックと北関東・甲信越ブロックからの依頼により、国家試験に関する研修会の講師を務めた。*委員長、委員2名の計3名を派遣 5. 学校別保健師国家試験合格率の推移などを分析し、国家試験対策の基礎資料とする。  <b>【委員会開催状況】</b> ・第1回 2018年10月25日 於：福島市 ・第2回 2019年2月22日(金)～2月24日(日) 於：新潟青陵大学